



トヨタ プリウス α ダイハツ メビウス

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

1130/1131/1132/1136

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せず）にして、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきます。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等是不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席に生じた傷、破れ、摩擦、シワ、ヘコミ、変型、変色、化学変化等

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）
その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着してから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま）にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際（シートカバーを取り外した際）にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際にご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましては一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属しておりません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこませるように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができれば、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

1 列目座面

※シートは主に2014/11のMC前のものを使用しています



①始めにシート背面からシート裏に回っているカバーを外します。カバーはゴムでシート裏に引っかけて固定されているので、ゴムの引っ掛けを外して、カバーを外します。



④シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



②①の生地をめくり上げると、黄色いサイドエアバッグの配線があります。マジックテープの固定を外して、配線を外側の端に寄せます。



⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、生地が入れ込みやすい位置で作業を行ってください。



③カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



⑥図の黄色い配線はサイドエアバッグの配線です。シート背面から配線をかわして生地を引き出します。快適温熱シート装備車はコンソール側に配線があります。配線の手前まで生地を引き出します。



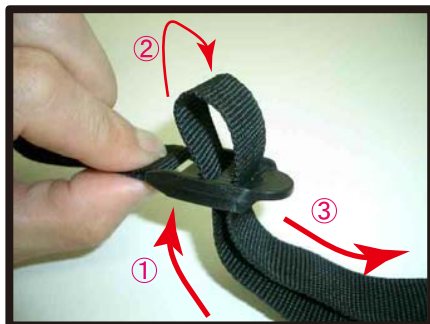
⑦カバー外側面の生地をシートのプラスチック部分に入れ込みます。入れ込みにくい場合はヘラなどをご利用下さい。



⑩ベルトをシート背面から引き出して1ページの⑥で引き出した生地が付いているバックルに通して固定します。



⑧カバー内側面に付いているマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。



⑪ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。



⑨図は運転席パワーシートを使用しています。パワーシートの場合はシート前側のプラスチック部の隙間にベルトを通して、シート背面へベルトを回します。手動シートはスライドレバーの上にベルトを通して、シートの裏から背面へ回します。



⑫シートのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様に取り付けます。

1 列目背もたれ

※シートを車体から外していますが、シートを外す必要はありません。



①側面のファスナーを開けた状態にして、シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。シートの肩口が張るようにしっかりとかぶせます。



④生地伸びを利用して台座を取り出します。



②1ページの①で外したカバーを、めくり上げて背もたれカバーの中へ入れ込みます。



⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。

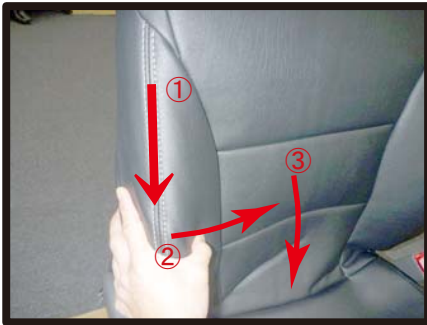


③ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。始めに台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



⑥図は運転席パワーシートを使用しています。パワーシートや快適温熱シートの場合、図のように配線があります。入れ込んだ生地は配線部分をかわして生地を引き出して下さい。

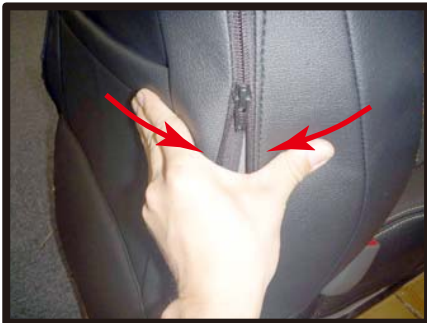
※手動シートに配線はありません。



⑦①→②→③の順番に、側面のしわを中央に寄せながら、シートに密着させるように馴染ませていきます。中央下に集まった生地を、再度背面から引き出します。



⑩3ページ⑥で引き出した生地と、カバーの背面下をマジックテープで固定します



⑧側面のファスナーを生地を内へ寄せながら、慎重に閉じます。



⑪カバー背面下の生地に付属の金属フックを取り付けます。



⑨ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



⑫金属フックはシート裏に引っ掛けて固定します。

2 列目座面



⑬カバー背面下は図のようになります。



①シートベルトバックルを固定しているゴムから外します



⑭カバーのラインを整えて、1列目背もたれの完成です。



②チャイルドシート固定用のバーがある部分のファスナーを開けておきます。



③ファスナーを開けた穴にカバー裏に付いているベルトを通します。ベルトはシート裏から取り出しますが、真っ直ぐに入れるとシート裏のカバーにあたりますので、ベルトを奥に入れ込み、底に突き当たると向かって左側へベルトを寄せます。



④内側の穴にもベルトを通します。内側はベルトが底に当たると、向かって右側へベルトを寄せます。



⑦カバーを裏返してシートのラインに合わせて合わせます。



⑤シートベルト、シートベルトバックルが収納されている部分にもベルトを入れ込みます。こちらは真っ直ぐ入れ込むと、ベルトが通る隙間があります。←注・狭いです。



⑧シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑥③④⑤で入れ込んだベルトを、シートを前方にスライドさせて、シートの背面から引き出します。引き出したベルトはシート裏を通して、シート前方へ回します。



⑨背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。生地を入れ込む際に、部材のフックでシート地を傷付けないようにご注意ください。



⑩背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑬⑧で引き出した生地に付いているプラスチックフックをシート裏に引っかけて固定します。



⑪入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑭フックはシート地を固定しているフックの上から引っ掛けて固定します。



⑫センターアームレストの背面部分はチャイルドシート固定用のバーのある位置に、カバーの加工穴を合わせて、マジックテープで直接シートに貼り付け固定します。

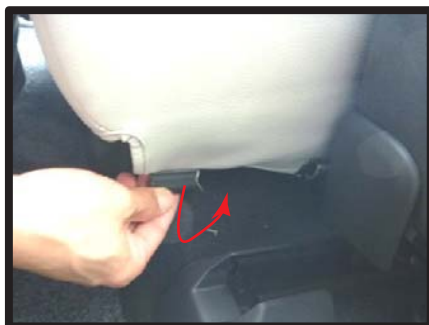
※2014/11以降のマイナーチェンジ後のモデルでは、固定用のバーはありませんが、カバーには加工穴を開けています。



⑮カバー側面部分をシートのプラスチックフック部の隙間に入れ込みます。



⑩シートの付け根部分の生地を、ヘラなどを使用してシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑪カバー内側面に付いているプラスチックフックを7ページの⑭を参考にシート裏で固定します。



⑫6ページの⑥で入れ込んだベルトをシート前方から引き出します。引き出したベルトは、シート前方のバックルに通して固定します。



⑬カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。



⑭カバー前方に付いているプラスチックフックをシート裏で固定します。



⑮助手席側のカバーには、シートベルトバックル収納部分の生地下に、ゴムが付いています。ゴムはシート裏に引き出して、シート裏に引っ掛け固定します。運転席側のカバーとの違いは、助手席側には内側面のフックは付きません。その他は同様に固定して、取り付けを行って下さい。

2列目背もたれ

※説明では2列目アームレスト付き車の運転席側を使用しています。



①カバーの加工穴にアームレストを通します。



④アームレスト下の生地も背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



②シートラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥引き出した生地を、カバー背面下の生地とマジックテープで固定します。



⑦シート背面です。シート付け根部分に生地を入れ込み



⑩シートの内側面です。図の隙間に生地を入れ込みます。



⑧シート背面のバッグボードの隙間に生地を入れ込みます。プラスチックの板を入れ込むことで、生地がはみ出さずに固定されます。



⑪シート側面の付け根部分です。生地を隙間に食い込ませるように入れ込みます



⑨シート背面は図のように仕上がります。



⑫シート正面からの付け根部分です。生地を隙間に入れ込みます。



⑬シート の 付け根 に生地 を入れ込みます。



⑭入れ込んだ生地をアームレストを倒して引き出します。



⑮ヘッドレストの台座を取り出します。



⑯引き出した生地とアームレスト収納部の下の生地を、マジックテープで固定します。



⑰アームレストの付け根に生地を入れ込みます。



⑱アームレスト収納部の生地を整えます。ファブリックのシートにはマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。合成皮革などを使用しているシートは、マジックテープが貼り付きません。12ページ⑲をご覧ください。

アームレスト



⑱合成皮革などのシートでアームレスト収納部にマジックテープなどの固定部材が貼り付かないシートは、カバーにも元々固定部材を付けていません。カバー装着後アームレストをしっかりと収納した状態で、しばらく置いていただき、生地に型を付けるようにして、シートに馴染ませて下さい。



⑳カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側・2列目アームレスト無し
の車も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



①カバーを半分程裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせますアームレストの先端までしっかりと生地が張るようにかぶせて下さい。



②アームレストのラインからずれないように、アームレスト全体にカバーをかぶせます。



③アームレストの付け根部分から生地を入れ込みます。図の手の位置を支点として、アームレストを倒します。生地と手が少し奥に入り込みます。その位置を維持したまま、さらにアームレストを倒す、起こすを繰り返すと、徐々に生地が入り込みます。



④ 12ページの③で入れ込んだ生地を引き出します。



⑦プラスチックフックを固定すると図のように収まります。



⑤カバーをプラスチックフックで固定します。アームレストを倒した際になる生地を折り返して、④で引き出した生地に挟むようにします。



⑧アームレストの付け根部分の生地を図の隙間に入れ込みます。



⑥プラスチックフックの固定方法は、カギ状のフックに平らな方のプラスチックを、生地と共にはめ込み固定します。



⑨カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。

1列目ヘッドレスト



①カバーを裏返して、ヘッドレストのラインに合わせます。ヘッドレストの先端まで、しっかりとカバーをかぶせます。



⑤ヘッドレスト裏は図のように収まります。



②ヘッドレストのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



⑥ヘッドレストをシートに戻して、カバーのラインを整えます。
1列目ヘッドレストの完成です。



③ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏でアームレストと同様に、プラスチックフックで固定します。

2列目ヘッドレスト



① 2列目ヘッドレストは、ヘッドレストの先端部分から矢印の方向へかぶせます。



④ プラスチックのフックを固定すると2列目ヘッドレス裏は図のように収まります。



② ヘッドレストの角を少し指で押し潰しながら、慎重にカバーを全体へかぶせます。

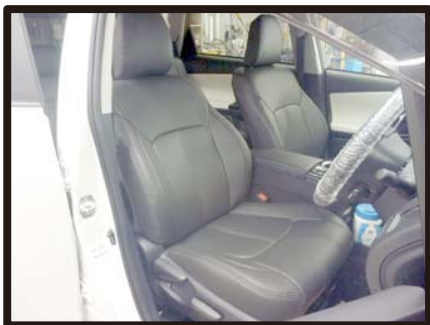


⑤ カバーのラインを整えて、ヘッドレストをシートに戻して完成です。2列目中央のヘッドレストも同様に取り付けます。



③ ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏のマジックテープを生地を内へ寄せながら留めます。

完成図



1 列目

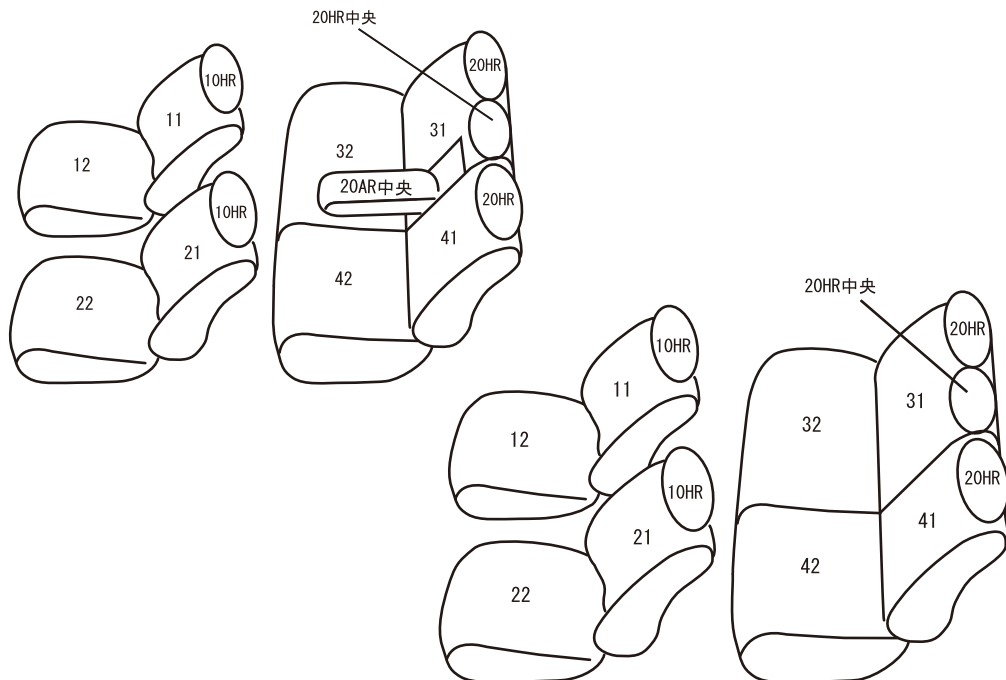


2 列目



2 列目アームレスト使用時

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

*この車種では、付属のヘラを使用します。